

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 138 号	氏名	林田 靖
学位審査委員	主査 増崎 英明 副査 朝長 万左男 副査 山下 俊一		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究はマウス腎尿細管上皮由来の MDCK 細胞を用いて、カルレティキュリンと E-カドヘリンの関連性を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 MCDK 細胞にカルレティキュリン遺伝子発現ベクターを導入して過剰発現細胞を作成し、その細胞浸潤能、E-カドヘリン等の遺伝子発現、さらに Ca の細胞内流入量等をそれぞれ適切な方法を用いて検討したものであり、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、カルレティキュリンは Slug を介して E-カドヘリン遺伝子の発現を抑制し、その結果、上皮間葉系転換をきたし、細胞間接着は減少することが明らかとなった。これは癌浸潤や転移に関する基礎的研究として高く評価される。</p> <p>以上のように本論文は癌浸潤や転移の研究に寄与するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			